

【オプトアウト】

2021 年度における歩育事業「石川県下における幼児の身体活動量の季節変動」 の調査対象となった皆様へ

現在、順天堂大学スポーツ健康科学部の研究等倫理審査委員会の審査を受けて、以下の研究を実施しています。

「石川県下における幼児の身体活動量の季節変動」

詳細は以下の通りです。研究への協力を希望されない場合は、下記文書内に記載されている研究の担当者へご連絡ください。

1. 事業名

2021 年度歩育事業「石川県下における幼児の身体活動量の季節変動」

2. 対象者及び研究期間

石川県ウォーキング協会の 2021 年度歩育事業「石川県下における幼児の身体活動量の季節変動」にご協力いただいた県内の保育園 10 園が対象でした。対象期間（測定期間）は 2021 年 4 月から 2022 年 3 月でした。

3. 概要

気候変動による気温上昇に伴い、熱中症の問題やその対策は喫緊の課題となっています。幼児の身体活動は、園の環境や季節などに影響を受けると考えられていますが、身体活動量からみた現状を季節と関連付けて検討することは意義があることと考えられます。このことを踏まえて、石川県ウォーキング協会では「石川県下における保育園に在籍する幼児の身体活動量の季節変動」について検討しました。調査対象者は石川県下の保育園に在籍する年長児に 200 名程度（10 園）でした。保育時間の身体活動状況（歩数、中・高強度の活動時間）を測定するために、腰部装着型の活動量計を用いました。活動量計はほとんどの幼児が登園し終える 9 時から、降園し始める 16 時までの間、着替え、昼寝や水遊びを除いて装着しました。調査結果については、調査対象者が通う保育園の園長等関係者へ報告済です。

4. データの利用目的及び利用方法

石川県ウォーキング協会の歩育事業として 2021 年度に実施した「石川県下における保育園に在籍する幼児の身体活動量の季節変動」の調査データを研究として二次利用し、身体活動量の変化を学術的に検証することを目的としています。歩育事業の調査によって得られた歩数や中・高強度の活動時間などのデータを用います。なお、分析を行う際には、研究者は

個人が特定できず、一切個人情報をも復元できないデータ（匿名加工情報）を取り扱います。

5. 研究の目的・意義

気候変動による気温上昇に伴い、熱中症の問題やその対策は喫緊の課題となっています。しかし、子どもの身体活動量を季節と関連付けて検討した研究は国外ではいくつか行われていますが、日本国内ではほとんど行われていないのが実情です。

本研究では、幼児の身体活動量を季節と関連付けて検討するとともに、それぞれの季節における運動遊びの在り方について示唆を与えることを目的とします。

5. 研究期間

倫理審査承認日から 2025 年 3 月 31 日

7. 利用または提供する情報の項目

①園活動中の身体活動量（歩数、中・高強度活動時間）、②身長・体重、③調査時の月齢

8. 利用の範囲

津田龍佑（金沢医科大学、順天堂大学協力研究員）、鈴木宏哉（順天堂大学）

9. お問い合わせ先

金沢医科大学一般教育機構 准教授 津田龍佑

TEL：076-286-2211（内線 7105）

E-mail：r-tsuda@kanazawa-med.ac.jp